

漢検

平成27年度 (2015年度) 第1回 日本漢字能力検定

標準解答(こたえ)

検定日 平成27年6月21日

(公財)日本漢字能力検定協会

(一) つぎの——線の漢字の読みがなを

(30) 1×30

- 1 草木の葉が朝つゆでぬれている。
2 小川の岸にすみれの花がさいた。
3 学校の屋上からお宮の森が見えた。
4 話し合いで意見が二つに分かれた。
5 図工室にある工作の用具をかりる。
6 学級文庫のほとんどが童話の本だ。
7 テストが終わって気が軽くなった。
8 休み時間に水とうのお茶を飲んだ。
9 石だんをかけ上がって息が切れた。
10 先生がプールの水の深さをはかる。
11 わすれ物に気づいて家に引き返す。
12 サッカーの試合でゴールを守る。
13 教室の黒板はたてより横が長い。
14 夜中に熱が出て苦しくなってきた。
15 通学路のどちゅうに歩道橋がある。
16 金魚の泳ぐ様子をかんさつする。
17 今度の旅行はとても楽しかった。
18 妹は病気で三日間、学校を休んだ。
19 一本のようかんを五つに等分する。
20 姉のゆめは医学の道に進むことだ。

(三) (一)の中に漢字を書いて、上とはんたいのいみのことばにしなさい。

(10) 2×5

- 下校——(登)校
安心——(心)配
勝つ——(負)ける
明るい——(暗)い
生まれる——(死)ぬ

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

(20) 2×10

- 相談・調子
勉強・人助け
予想・急ぎ足
注目・消火
空港・研究会

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(10) 1×10

乗 緑 送 悪 皮
発 根 球 羊 齒

8級 A

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

○あなたのせいせきは、40日ほどあとにお知らせします。
受かった人には合かくしょうしょを送ります。
楽しみに待っていてください。
受からなかった人にもお知らせします。

△合かくしているかどうかなどのお問い合わせにはお答えできません。

[不許複製]

おわり

(五) つぎの()の中に漢字を書きなさい。(20) 2×10

読書ノートに書名と作(者)名を書く。
遠足で(写)真をとってもらった。

この寺には(有)名なつりがねがある。
ちようが花畑を自(由)にとび回る。

理科室でびんに入った(薬)品を見た。
市(役)所のすぐ近くにバス停がある。

(洋)服をぬいてハンガーにかけた。
ガラスまどから太(陽)の光が入る。

けがで入(院)した友だちを見まう。
くつ売り場には五人の店(員)がいた。

(六) つぎの—線のカタカナを○の中の漢字と
おくりがな(ひらがな)で□の中に書きな
さい。(10) 2×5
〈れい〉(大)オオキイ花がさく。 □ 大きい

1 (流) 小川がさらさらとナガレル。

2 (平) ヒラタイ石にこしをかけて休んだ。

3 (投) 父は兄よりも速いボールをナゲル。

4 (育) つばめが巢を作ったひなをソダテル。

5 (悲) 新聞にカナシイ記事がのっていた。

(七) つぎの—線の漢字の読みがなを
—線の右に書きなさい。(10) 1×10

作文を整理して引き出しに入れる。
ブラシをかけてかみの毛を整える。

姉は去年から絵画教室に通っている。
台風が去ると雨は小ぶりになった。

短気を起こして父にしかられた。
冬は夏にくらべると日が短い。

風車がくるくると回転する。
けわしい山道で転びそうになった。

一羽のからすが電柱にとまった。
教室の柱に温度計がかけてある。

(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。(40) 2×20

1 計算テストの問(題)は時間内に

2 (全)部できた。

3 友だちの(落)としたハンカチを

4 (拾)ってあげた。

3 国語の時間にお(礼)の手紙の

書き方を学(習)した。

4 昼休みは(運)動場に出る

みんなと楽しく遊んだ。

5 小鳥が家の(庭)の木にとまって

(美)しい声で鳴いている。

6 家(族)みんながテレビの前に

(集)まって野球の試合を見た。

7 父は(重)い荷物を(持)ち上げて

車にのせた。

8 世(界)の国々の(昔)話ののって

いる本を図書室で見つけた。

9 祭りの行(列)が(神)社を出て

町内を練り歩く。

10 駅の近くにある(商)店がいて

大売り出しが(始)まる。